

就労継続支援A型事業所におけるスコア表（全体）

事業所名	瑞宝太鼓
住所	長崎県雲仙市瑞穂町古部甲2504番地
電話番号	0957-77-3934

事業所番号	4211450517
管理者名	高木美和
対象年度	令和7年度

(I) 労働時間		90 点
①1日の平均労働時間が7時間以上	<input type="radio"/>	
②1日の平均労働時間が6時間以上7時間未満		
③1日の平均労働時間が5時間以上6時間未満		
④1日の平均労働時間が4時間30分以上5時間未満		
⑤1日の平均労働時間が4時間以上4時間30分未満		
⑥1日の平均労働時間が3時間以上4時間未満		
⑦1日の平均労働時間が2時間以上3時間未満		
⑧1日の平均労働時間が2時間未満		
①90点 ②80点 ③65点 ④55点 ⑤40点 ⑥30点 ⑦20点 ⑧5点		

(II) 生産活動		60 点
①過去3年の生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う賃金の総額以上	<input type="radio"/>	
②過去3年の生産活動収支のうち前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う賃金の総額以上		
③過去3年の生産活動収支のうち前年度における生産活動収支のみが前年度に利用者に支払う賃金の総額以上		
④過去3年の生産活動収支のうち前々年度における生産活動収支のみが前々年度に利用者に支払う賃金の総額以上		
⑤過去3年の生産活動収支のうち前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う賃金の総額未満		
⑥過去3年の生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う賃金の総額未満		
①60点 ②50点 ③40点 ④20点 ⑤-10点 ⑥-20点		

(III) 多様な働き方（※）		15 点
①免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度		
就業規則等で定めている	<input type="radio"/>	
②利用者を職員として登用する制度		
就業規則等で定めている		
③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律		
就業規則等で定めている		
④フレックスタイム制に係る労働条件		
就業規則等で定めている		
⑤短時間勤務に係る労働条件		
就業規則等で定めている	<input type="radio"/>	
⑥時差出勤制度に係る労働条件		
就業規則等で定めている	<input type="radio"/>	
⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度		
就業規則等で定めている	<input type="radio"/>	
⑧傷病休暇等の取得に関する事項		
就業規則等で定めている	<input type="radio"/>	
小計（注1）		5
（※）8項目の合計点に応じた点数 （注1）5以上：15点、4～3：5点、2点以下：0点		

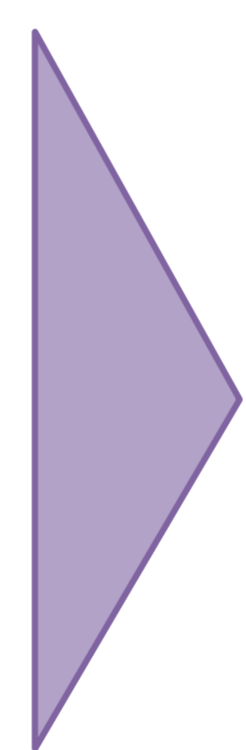
(IV) 支援力向上（※）		15 点
①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会		
参加した職員が1人以上参加している	<input type="radio"/>	
②研修、学会等又は学会誌等において発表		
1回以上の場合	<input type="radio"/>	
③視察・実習の実施又は受け入れ		
いずれか一方のみの取組を行っている	<input type="radio"/>	
④販路拡大の商談会等への参加		
1回以上の場合	<input type="radio"/>	
⑤職員の人事評価制度		
人事評価結果に基づき定期に昇給を判定する制度を設け、全ての職員に周知している	<input type="radio"/>	
⑥ピアサポーターの配置		
ピアサポーターを職員として配置している		
⑦第三者評価		
過去3年以内の福祉サービス第三者評価を受審しており、結果を公表している。		
⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等		
都道府県知事が適当と認める国際標準化規格が定めた規格その他これに準ずるものの認証を受けている		
小計（注2）		5
（※）8項目の合計点に応じた点数 （注2）5以上：15点、4～3：5点、2点以下：0点		

(V) 地域連携活動		10 点
地域の事業者と連携した付加価値の高い商品開発、企業や官公庁等での生産活動等地域社会と連携した活動を行い、その結果をインターネット等により公表している	<input type="radio"/>	
1事例以上ある場合：10点		

(VI) 経営改善計画		0 点
経営改善計画の提出を求められていない。または、経営改善計画の提出を求められているが、指定された期日までに提出している。	<input type="radio"/>	
期限内に提出していない場合：-50点		

(VII) 利用者の知識・能力向上		10 点
前年度において、就労継続支援A型事業所等が利用者の知識及び能力の向上に向けた支援を行い、当該支援の具体的な内容を記載した報告書を作成し、インターネットの利用その他の方法により公表している。	<input type="radio"/>	
1事例以上ある場合：10点		

項目	点数
労働時間	5点 20点 30点 40点 55点 65点 80点 90点
生産活動	-20点 -10点 20点 40点 50点 60点
多様な働き方	0点 5点 15点
支援力向上	0点 5点 15点
地域連携活動	0点 10点
経営改善計画	0点 -50点
利用者の知識・能力向上	0点 10点



合計
200
点 / 200点

就労継続支援A型事業所におけるスコア表（実績Ⅰ～Ⅳ、Ⅵ）

(Ⅰ) 労働時間

前年度（令和7年度）

雇用契約を締結していた全ての利用者における延べ労働時間	23,923	時間	雇用契約を締結していた延べ利用者数	3,151	人	利用者の1日の平均労働時間数	7.59	時間
-----------------------------	--------	----	-------------------	-------	---	----------------	------	----

(Ⅱ) 生産活動

会計期間（4月～3月）

前々々年度（令和5年度）

生産活動収入から経費を除いた額	24,946,250	円	利用者に支払った賃金総額	23,124,151	円	収支	1,822,099	円
-----------------	------------	---	--------------	------------	---	----	-----------	---

前々年度（令和6年度）

生産活動収入から経費を除いた額	25,013,303	円	利用者に支払った賃金総額	24,230,084	円	収支	783,219	円
-----------------	------------	---	--------------	------------	---	----	---------	---

前年度（令和7年度）

生産活動収入から経費を除いた額	29,744,665	円	利用者に支払った賃金総額	24,760,109	円	収支	4,984,556	円
-----------------	------------	---	--------------	------------	---	----	-----------	---

(Ⅲ) 多様な働き方

前年度（令和7年度）における取組（全体表「(Ⅲ) 多様な働き方」の各項目において「就業規則等で定めている」と選択した場合に記載）

①免許・資格取得、検定の受検奨励に関する制度

◎免許・資格取得、検定の受検奨励に関する制度を定めている	<input checked="" type="checkbox"/>
------------------------------	-------------------------------------

②利用者を職員として登用する制度

◎利用者を職員として登用する制度を定めている	<input type="checkbox"/>
------------------------	--------------------------

③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律

在宅勤務に係る労働条件及び服務規律に関する制度を定めている	<input type="checkbox"/>
-------------------------------	--------------------------

④フレックスタイム制に係る労働条件

◎フレックスタイム制に係る労働条件を定めている	<input type="checkbox"/>
-------------------------	--------------------------

⑤短時間勤務に係る労働条件

◎短時間勤務に係る労働条件を定めている	<input checked="" type="checkbox"/>
---------------------	-------------------------------------

⑥時差出勤制度に係る労働条件

◎時差出勤制度に係る労働条件を定めている	<input checked="" type="checkbox"/>
----------------------	-------------------------------------

⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度

◎有給休暇の時間単位取得または、計画的付与制度を定めている	<input checked="" type="checkbox"/>
-------------------------------	-------------------------------------

⑧傷病休暇等の取得に関する事項

◎傷病休暇等の取得に関する事項を定めている	<input checked="" type="checkbox"/>
-----------------------	-------------------------------------

(Ⅳ) 支援力向上

前年度（令和7年度）における取組（全体表「(Ⅳ) 支援力向上」の各項目に取組あり選択とした場合に記載）

①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会

◎研修計画を策定している	<input checked="" type="checkbox"/>
◎外部研修、もしくは内部研修を1回以上実施している。	<input checked="" type="checkbox"/>
※研修名	職員全体研修
研修講師	サポート本部
実施日・受講者数	12月23日 4人

②研修、学会等又は学会誌等において発表

◎研修、学会等又は学会誌等において1回以上発表している	<input checked="" type="checkbox"/>
※研修、学会等名	岐阜大学公開講座
実施日	8月30日
※学会誌等名	
掲載日	月 日
発表テーマ	

③視察・実習の実施又は受け入れ

◎先進的事業者の視察・実習の実施している	<input checked="" type="checkbox"/>
もしくは、他の事業所の視察・実習を受け入れている	<input checked="" type="checkbox"/>
※先進的事業者名	
実施日/参加者数	月 日 人
※他の事業所名	長崎国際大学、上海大学社会学院
実施日/参加者数	7月29日 18人

④販路拡大の商談会等への参加

◎販路拡大の商談会や展示会等へ1回以上参加している。	<input checked="" type="checkbox"/>
※商談会等名	ながさきピース文化祭2025
主催者名	文化庁、厚生労働省、長崎県
日時	9月14日
内容	文化芸術の祭典にて演奏
	(第40回国民文化祭、第25回全国障害者芸術・文化祭)

⑤職員の人事評価制度

◎職員の人事評価制度を整備している	<input checked="" type="checkbox"/>
◎当該人事評価制度を周知している	<input checked="" type="checkbox"/>
人事評価制度の制定日	H28年 4月 1日
人事評価制度の対象職員数	5名
うち昇給・昇格を行った者	5名
当該人事評価制度の周知方法	各拠点での説明会実施

⑥ピアサポーターの配置

◎ピアサポーターを配置している	<input type="checkbox"/>
◎当該ピアサポーターは「障害者ピアサポーター研修」を受講している	<input type="checkbox"/>
※配置期間	月 日～月 日
就業時間	
職務内容	

⑦第三者評価

◎前年度末日から過去3年以内に福祉サービス第三者評価を受けている	<input type="checkbox"/>
※評価を受けた日	
第三者評価機関	

⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等

◎ISOが制定したマネジメント規格等の認証等を受けている	<input type="checkbox"/>
※認証を受けた日	月 日
規格等の内容	

(Ⅵ) 経営改善計画

◎指定権者である都道府県（指定都市・中核市）へ、経営改善計画書へ提出した。

※受理日	年 月 日
------	-------

各項目について適宜、実績がわかる情報を追加すること。

## 就労継続支援 A 型事業所における地域連携活動実施状況報告書

事業所名	瑞宝太鼓
住所	長崎県雲仙市瑞穂町古部甲2504
電話番号	0957-77-3934

事業所番号	4211450517
管理者名	高木 美和
対象年度	令和7年度

## 地域連携活動の概要

## &lt;活動内容&gt;

**活動場所** 雲仙市、諫早市他

**実施日程** 令和7年4月1日～令和8年3月31日

**実施した生産活動・施設外就労の概要**

- ・地域学校と連携した文化芸術鑑賞・体験委託事業の実施。
- ・長崎刑務所と連携した講習活動の提供。
- ・地域の方を対象にした和太鼓講習の実施。
- ・地元農家への農作業依頼への対応。

**利用者数** 14名

## &lt;目的&gt;

**地域連携活動のねらい**

- ・瑞宝太鼓が掲げる「希望し・努力し・感謝して生きる」という気持ちを届けている。和太鼓演奏、体験を通して、文化芸術活動の素晴らしさ、障がいへの理解を深めている。瑞宝太鼓が持っているノウハウを用いて地域や学校、刑務所においてワークショップ等を開催することで、地域に元気を届け、地域全体の文化芸術の発展に務めている。
- ・地域農家の農作業依頼に対応しながら地域交流を進めている。

**地域にとってのメリット**

- ・世界でも活躍し、プロとして活動する瑞宝太鼓メンバーが直接講師として対応し、楽しく、心温まる空間を共有できている。障がいに対する理解を深め、音楽の素晴らしさを伝えることができる。

**対象者にとってのメリット**

- ・専門職である太鼓演奏、講習活動において演奏家、講師として活動する事により技量を高め、誇りを持った仕事に取り組むことがで

## &lt;成果&gt;

**実施した結果**

- ・文化庁委託事業 ユニバーサル公演事業において全国13校での公演やワークショップを実施。また夢大使活動において、人権学習の場としても地元の学校へ訪問し、人権学習の機会提供・交流が実現した。
- ・長崎刑務所との連携モデル事業において定期的に和太鼓講習（体感協調プログラム）を実施している。
- ・農作業や企業の除草作業など地域の依頼に対応し実施することができた。

**得られた成果**

- ・文化庁委託事業、講習、農作業など、事業収入のアップへと繋がり、社員の給与維持へとつながる。

**課題点**

- ・依頼型のイベント出演に加えて文化庁事業、日々の講習活動に加えて、依頼型のイベント出演などもあり、密な日程調整を要する。

## &lt;活動の様子&gt;

**活動の様子の写真、成果物の写真**

(学校公演)

舞台芸術の鑑賞と体験機会を提供する文化庁委託事業のユニバーサル公演のもと、本公演およびワークショップ、子どもたちとの成果発表を実施。



(地域交流)

和太鼓体験会やダンスチームとの共演など多様な団体との交流を深めた。



(夢大使活動)当事者の経験・人生を語る活動

地域の小中学校、企業経営者や刑務官の方々など、障がいがある人への理解を深める活動を行っている。



(委託業務作業)

地域の農家さんや共同受注センターの依頼に対応し作業に取り組んでいる。



## 連携先の企業等の意見または評価

**連携した結果に対する意見または評価**

- ・ながさきピース文化祭（雲仙市企画）ハブニングパフォーマンスでは、地元のダンスチームや音楽家が海外のダンサーと共演し、これまでに体験したことのない新たな世界観を創り出すステージとなり、地域住民から称賛の声が上がっていた。夢大使活動においても生徒さんに対し太鼓の魅力、障がいへの理解について生の声を届ける機会となっている。

**今後の連携強化に向けた課題**


- ・関係機関との連絡調整を図り、今後も事業の継続が出来るよう努めたい。

連携先企業名	雲仙市教育委員会	担当者名	中島 様
--------	----------	------	------

## 労継続支援 A 型事業所における利用者の知識・能力向上に係る実施状況報告

事業所名	瑞宝太鼓	事業所番号	4211450517
住所	長崎県雲仙市瑞穂町古部甲2504	管理者名	高木 美和
電話番号	0957-77-3934	対象年度	令和7年度

## 利用者の知識・能力向上に係る実施概要

<b>&lt;活動内容&gt;</b> <b>活動場所</b> LOCAL STATION CIRCLE 食堂 <b>実施日程</b> 令和8年3月18日 <b>実施した利用者の知識・能力向上に係る実施の概要</b> 障害者就業・生活支援センターの役割と働き続けるために必要なこと <b>利用者数</b> 10名	<b>&lt;活動の様子&gt;</b> <b>活動の様子の写真、成果物の写真</b> 
<b>&lt;目的&gt;</b> <b>利用者の知識・能力向上に係る実施のねらい</b> 就業・生活支援センターの役割となぜ働くのか、長く働くために必要なことについて学ぶ機会を設定。 <b>利用者にとってのメリット</b> 働き続けるための基本（マナーやルール）を学び、日々の業務に	
<b>&lt;成果&gt;</b> <b>実施した結果</b> 仕事の基本となることを改めて学べた。 <b>得られた成果</b> 業務に対する意欲が増したり、意識の変化があった。 <b>課題点</b> 日々の業務中で、風化していくこともあるので、朝礼時などに日常的な振り返りが必要である。	

## 連携先の企業や事業所等の意見または評価

<b>連携した結果に対する意見または評価</b> 上司や先輩からの指示の受け方、職場における基本的な報告・連絡、スマートフォン利用時の注意点について研修を実施した。社員の方が職場ルールや適切なコミュニケーションを理解し、就労に必要な基礎的知識・態度の向上が図られたと思われる。 <b>今後の連携強化に向けた課題</b> 支援目標や利用者の状況についてより丁寧な共有を行い、双方の役割を確認しながら連携体制を整えていくことが今後の課題である。就労面・生活面双方の情報を定期的に共有し、利用者の就業能力の向上と安定した就労につなげていくことが望まれる。	
連携先企業（担当者）	長崎障害者就業・生活支援センター 平田加奈子、船津加奈子

## 利用者からの意見・評価

<b>参加した利用者からの意見・評価</b> 自分の考えだけで行動するのではなく言葉に出して伝えることの大切さを改めて学んだ。 「ハウレンソウ」をしっかりと行いミスをなくし、社会人として落ち着いて行動ができるように意識したい。
---